

Creative Native

AOI Pro.

第50期 第2四半期報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

おかげさまで、当社は今期第50期を迎え、AOI Pro.グループが次の50年でさらに成長するため、この上半期も積極的な事業推進に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期のグループ業績につきましては、売上高、利益ともに大幅に増加し、過去最高の水準となり、通期業績につきましても、年度初めの業績予想を上方修正させていただきました。

当社は7月1日より、「株式会社葵プロモーション」から「株式会社AOI Pro.」に生まれ変わりました。今の時代のプロとは何かを考え、常識や領域が目まぐるしく変化する中で、常にその最前線にあること、最新型のプロフェッショナルであること、この「AOI Pro.」という名前には、そういう意味があります。昨日までのプロも、同じ手口に安住すれば、瞬間にアマチュア以下になってしまう時代に、どれだけ鮮やかな仕事ができるか、そして、その成功に囚われず、次へ行けるのか。

グループ全社員一丸となって、この新たな社名に恥じないような仕事をしていきたいと思っておりますので、株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。



代表取締役社長

藤原 次彦

企業ステートメント

ひとりひとりが
それぞれの立場や役割の
Professional として
最高のクリエイティビティを発揮させ
さまざまな **Produce** を行う。

そこから生み出された **Product** を
社会やステークホルダーの **Profit** につなげる。

それが私たちの **Promise** です。

Creative Native **AOI Pro.**

AOI Pro.
Promise
(AOI Pro.の約束)

[Pro]は、「前に」「先へ」という意味の接頭語。私たちは、そこにたくさんの思いや決意を込めました。

Q.当第2四半期の業績について

売上高は前年同四半期比139.9%、営業利益は6億1千1百万円増の増収増益に。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景に緩やかな回復が続いていたものの、海外経済の減速感の強まり、個人消費が横ばいとなったことなどから、足元では停滞し踊り場となっております。

このような状況のもとで、AOI Pro.グループは、平成24年3月に策定した中期経営計画に則り、この上半期も積極的な事業推進に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高127億1千4百万円(前年同四半期比139.9%)、営業利益8億3百万円(前年同四半期比419.2%)、経常利益7億7千1百万円(前年同四半期比434.8%)、四半期純利益2億8千4百万円(前年同四半期比393.4%)となりました。

Q.セグメント別の事業について

主力の広告制作事業が大幅増収増益。

① 広告制作事業

わが国経済の動きを反映し、広告需要は第1四半期連結会計期間の伸び率が大きく上昇したものの、第2四半期連結会計期間は緩慢な動きとなりました。こうした状況下、グループ全社を挙げた営業体制強化や中期経営計画に基づく新たな取り組みの相乗効果等により、当

第2四半期連結累計期間の売上高は120億円(前年同四半期比143.9%)、セグメント利益は9億2千8百万円(前年同四半期比258.3%)を計上し、前年同四半期比大幅な増収増益となりました。

② 写真スタジオ事業

平成22年6月、当社連結子会社(株)ホリーホックにて、コンシューマー向け写真館運営事業及び全国の写真館に対する販売促進支援を行う「写真スタジオ事業」を開始することを決定し、平成22年9月、東京ミッドタウンに「写真スタジオhollyhock」第一号店を、平成24年5月には自由が丘に第二号店をオープンさせました。現状、創業赤字の状態ではありますが、当第2四半期連結累計期間の売上高は2千9百万円(前年同四半期比133.0%)、セグメント損失は2千万円(前年同四半期は、セグメント損失4千3百万円)と改善しております。今後とも、既存店舗の認知度アップにより売上高を着実に伸ばしていくことで、早期の黒字化を目指してまいります。

③ メディア関連事業

平成23年4月1日、ゴルフに係る出版・広告・オンライン事業を行う(株)パーゴルフを子会社化し、当社グループとして初めて「メディア」を保有することになりました。前連結会計年度は事業開始年度であったため、売上高を直接減少させる原因となる当社グループが負担すべき返品がありませんでしたが、当連結会計年度については

前連結会計年度発行分の返品を計上しているため、広告需要の回復により広告売上は増加しているものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億8千5百万円(前年同四半期比93.9%)、セグメント損失は1億3千6百万円(前年同四半期は、セグメント損失1億3千8百万円)となりました。

Facebookページにおける400万人を超えるファンの獲得、アジアでのゴルフメディアとの提携、マレーシアへの子会社設立など新たな取り組みも着実に進めております。今後も「週刊パーゴルフ」の持つブランド力と編集力に、当社グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテインメントコンテンツ制作ノウハウと創造力を加え、オンライン事業も含めたゴルフ総合サービスを提供することで、早期の黒字化を目指してまいります。

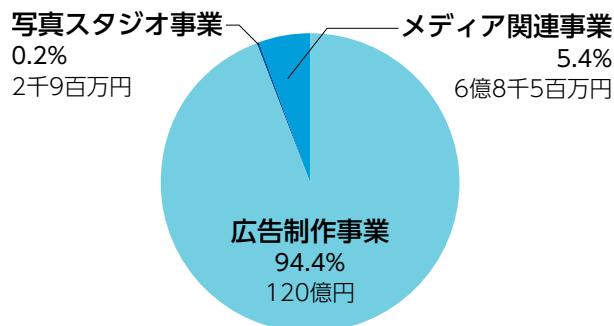
なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。また、記載金額には消費税等は含まれておりません。

Q.通期の業績について

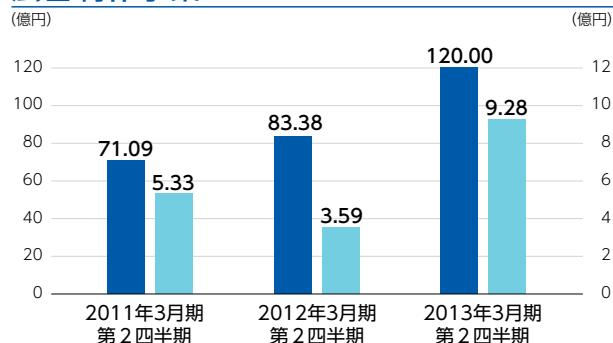
連結業績・個別業績ともに、年度初の業績予想を上方修正。

平成25年3月期第2四半期の業績は前述のとおりであります。景気は後退局面にあるものの、足元の受注状況からすると、続く第3四半期、第4四半期においても前年同四半期並みの売上が維持されると見込まれることから、連結業績・個別業績ともに、年度初めの業績予想を上方修正しました。

セグメント別売上高構成比



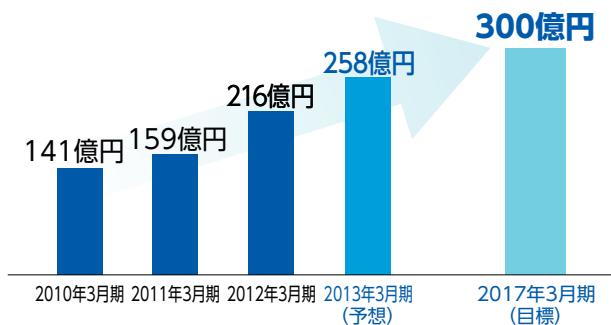
広告制作事業



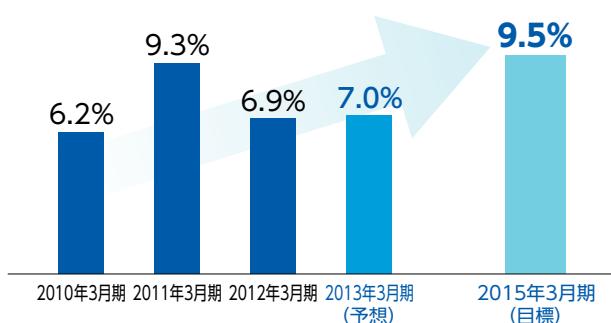
通期(2013年3月期)の連結業績予想

	連結	前期比
売上高	258億円	19.0%増
営業利益	18億円	20.0%増
経常利益	17億6千万円	21.0%増
当期純利益	8億1千万円	20.1%増

連結売上高



連結営業利益率



Q.中期経営計画の進捗状況について

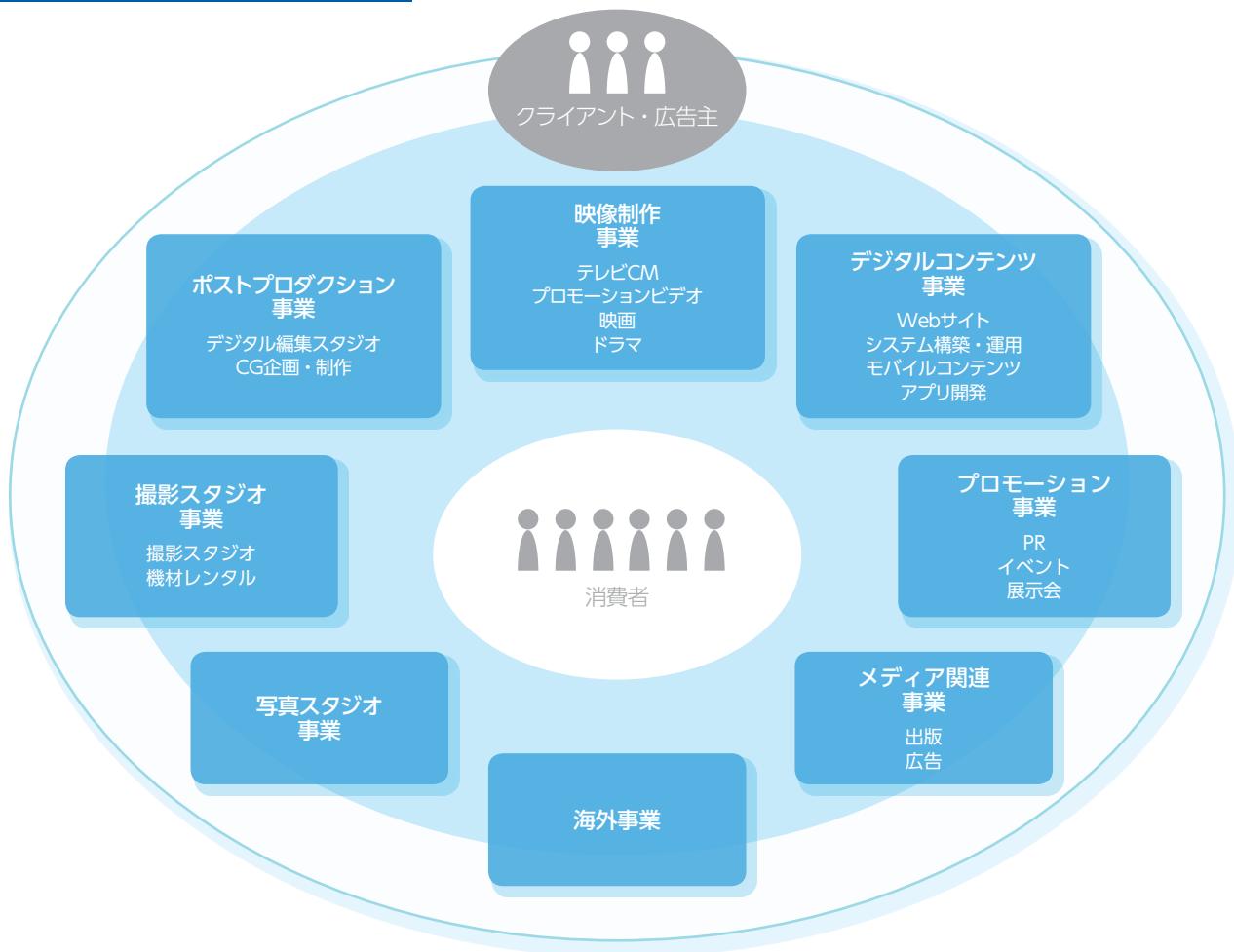
足元の好調な業績は中期経営計画への取り組みの効果、下半期もさらに強化。

足元の好調な業績は、中期経営計画に基づく新たな取り組みや、AOI Pro.のDNAを受け継いだプロフェッショナル育成の効果が現れたものと考えており、この下半期においてもさらに取り組みを強化していきます。

具体的には、中期経営計画で掲げた6つのキーワードのうち、「グローバル」に関しては、シンガポールにアジアにおける地域統括拠点を設立し、その傘下にAOI ASIAのネットワークを広げていきたいと考えています。

また、「テクノロジー」「コミュニケーションデザイン」「グループ連携」に関しては、来年度に向けて、AOI Pro.グループのデジタル部門を再編し、お客さまのニーズに沿った適切なコミュニケーションサービスを提供できる体制を構築したいと考えています。





創業当時からの中核事業であるテレビCM制作に加え、映画やドラマ、プロモーションビデオなど、当社がプロデュースする映像制作事業は多岐にわたります。

世界でも高く評価される当社の作品クオリティを支える撮影スタジオ事業やポストプロダクション事業、さまざまな広告案件をより確実に消費者に伝えるためのプロモーション事業、そして新たなメディアであるWeb、モバイル、ソーシャルアプリケーションなどのデジタルコンテンツ事業にも我々のフィールドは広がっています。

また近年では、ゴルフに関わる出版・広告メディア事業や、コンシューマ向けの写真スタジオ事業などにもビジネス領域を拡大しています。

AOI Pro.

(株)AOI Pro.

テレビコマーシャルの企画及び制作
デジタルコンテンツの企画及び制作
エンタテインメントコンテンツの企画及び制作
<http://www.aoi-pro.com/>

主なグループ会社



(株)メディア・ガーデン

撮影スタジオの経営
<http://www.media-garden.co.jp/>



(株)デジタル・ガーデン

デジタル編集及びCGの企画・制作
<http://www.dgi.co.jp/>



(株)ワサビ

テレビコマーシャルの企画・制作
<http://www.wasa-be.co.jp/>



(株)エムズプランニング

イベントや展示会の企画・運営
<http://www.emsp.co.jp/>



(株)スクラッチ

広告全般の戦略・企画・制作
<http://www.sc-com.jp/>



(株)シースリーフィルム

テレビコマーシャル、
ビデオソフトの企画・制作
<http://www.c3film.co.jp/>



(株)ホリーホック

写真スタジオ事業
<http://www.ho-hock.co.jp/>
<http://www.ho-hock.jp/>



(株)パーゴルフ

ゴルフに関わる出版、広告、オンライン事業等
<http://www.par-golf.com/>



(株)ティー・ケー・オー

広告、SPツール、
Webの企画・制作及び広告写真撮影
<http://www.tkonet.jp/>



(株)ビジネス・アーキテクツ

Webコミュニケーションに関わる
総合ソリューション事業
<http://www.b-architects.com/>



PT. AOI ASIA INDONESIA

インドネシアにおける
テレビコマーシャルの制作関連業務
<http://aoiasia.com/>

TV COMMERCIALS

AOI Pro.

資生堂 ザ・コラーゲン
「キレイへ」

AOI Pro.

ダイハツ工業 ミライース
「遺言」

AOI Pro.

ネスレ日本 ネスカフェ ゴールドブレンド
「45年目のダバダ」

AOI Pro.

グーグル Google モバイル
「つくろう、未来を。」

AOI Pro.

ハーゲンダッツジャパン クレープグラッセ
「あっ、フランボワーズ」

AOI Pro.

KDDI au 電波サポート24
「もっとつながる」

AOI Pro.

森永製菓 ダース
「後輩ダース」

AOI Pro.

東日本電信電話 企業
「夢」 鈴木一朗

MUSIC VIDEO

AOI Pro.

AKB48 「ギンガムチェック」

TV PROGRAM

AOI Pro.

NHK Eテレ
クリエイティブ・エデュケーション番組
「テクネ 映像の教室」

2012年8月20日から3夜連続放送された。クリエイターの卵や映像に興味を持つ若い人たちに向けた教育番組。3月に放送され好評を得た第1弾に引き続き、オープニング映像等の制作協力を行った。

APP

AOI Pro.

映画『009 RE : CYBORG』
オリジナルスマートフォンアプリ
「009 RE:CYBORG News Reader」
(iOS版 / Android版)

漫画「サイボーグ009」を原作とした映画『009 RE : CYBORG』に関連するWeb上の情報を集約するアプリ。ニュース閲覧、原作クイズ、TwitterやFacebookでの情報シェア、予告編の映像視聴などが楽しめる。

WEB SITE

AOI Pro.

サントリー酒類 自家製フルーツブランデー
Webサイト
「自家製フルーツブランデーはじめましょ」

(株)メディア・ガーデン

撮影スタジオの経営

AOI Pro.

ブルーレイコンテンツ「サンシャイン水族館3D/ Sunshine Aquarium3D」を発売

2011年にフルリニューアルした東京・池袋「サンシャイン水族館」の全面協力の下、水族館プロデューサー・中村元氏が監修した水族館3D映像を制作した。3Dに最も適した展示水槽を厳選し、延べ30日間に及ぶ撮影を敢行。高画質ハードディスクレコーダーによる長時間収録を行い、生物の印象的な動きをリアルに捉えている。館内の光の写りこみをすべて遮蔽し、CM撮影クオリティのライティングを施すことで、2Dでは再現できない幻想的で

透明感のある3Dの水槽を体感できる。

メディア・ガーデンは、撮影スタジオの経営を主業務としつつ、2010年に制作部署「映像開発部」を発足。今回が同社初の映像コンテンツとなる。今後も、同社の持つリソース（スタジオ、機材、スタッフ等）を強みとした映像制作を目指す。

「サンシャイン水族館3D/Sunshine Aquarium3D」収録時間52分／価格3,990円（税込み）

(株)デジタル・ガーデン

デジタル編集及びCGの企画・制作

AOI Pro.

カラーグレーディング業務を開始

10月1日より、新たな事業の柱としてカラーグレーディング(色彩補正)業務を開始した。カラーグレーディング業務は、これまでアメリカ・サンタモニカを拠点とする世界的に有名なポストプロダクション「Company3」社とリモート・テレシネサービス※で業務提携していたが、今回カラーグレーディングに特化したシステムを新たに導入し、社内で作業を行う体制も構築した。様々な編集作業を同じ部屋で一貫して行うことが可能になり、より高い

クオリティの提供を実現。今後も「Company3」社から優秀なカラリストを招聘するなど、更なるサービスの向上と人材育成を目指している。

※リモート・テレシネサービス……ビデオ会議システムを活用し、日本にいながらアメリカの「Company3」社とリアルタイムでカラーグレーディングを行うことができるデジタル・ガーデン独自のサービス

PT. AOI ASIA INDONESIA

インドネシアにおける
テレビコマーシャルの制作関連業務

AOI Pro.

テレビCM ソニー
「スマトラ島 森林保全プロジェクト」

AOI ASIA構想の最初の取組みとして、当社がこれまで培ってきた映像制作ノウハウを日本企業が数多く進出するアジア領域で活用することを目的に2011年9月設立。以来、インドネシアを中心としたアジア圏での映像制作ビジネスを積極的に展開している。

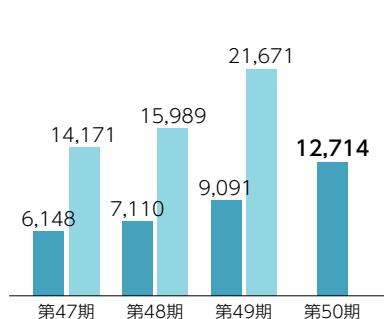
最近の代表作に8月18日から日本で放映されているテレビCM ソニー「スマトラ島森林保全プロジェクト」編があり、世界遺産

に指定された貴重な森を守るための同社の森林保全活動を紹介する内容となっている。CMの放送に併せて設置された特設サイトはAOI Pro.のデジタルコンテンツ事業部門が担当しており、グループ会社のシナジーも発揮されている。

■第2四半期 ■通期

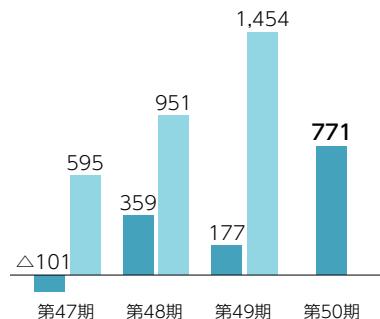
売上高

(単位：百万円)



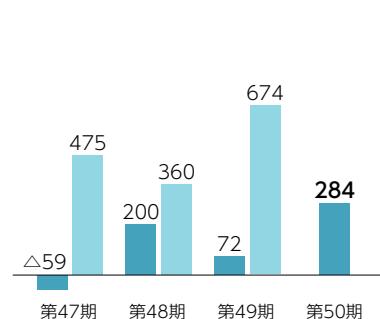
経常利益

(単位：百万円)



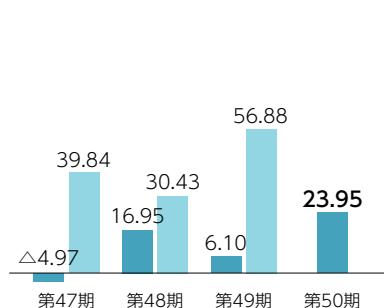
当期 (四半期) 純利益

(単位：百万円)



1株当たり当期 (四半期) 純利益

(単位：円)



総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



	第47期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで		第48期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで		第49期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで		第50期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高 (百万円)	6,148	14,171	7,110	15,989	9,091	21,671	12,714	25,800
経常利益 (百万円)	△101	595	359	951	177	1,454	771	1,760
当期 (四半期) 純利益 (百万円)	△59	475	200	360	72	674	284	810
1株当たり当期 (四半期) 純利益 (円)	△4.97	39.84	16.95	30.43	6.10	56.88	23.95	68.22
総資産 (百万円)	15,420	15,727	16,821	17,210	17,830	20,669	20,141	
純資産 (百万円)	8,753	9,221	9,273	9,415	9,235	9,889	10,061	

(注) 1. △印は損失を示しております。
2. 1株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均の株式数により算出しております。

会社の概況 (平成24年9月30日現在)

商号	株式会社AOI Pro. (英文名AOI Pro. Inc.)
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	313名 (AOI Pro. グループ633名)
主要な事業内容	テレビコマーシャルの企画及び制作を主に、映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

取締役及び監査役 (平成24年9月30日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役社長	藤原 次彦	
専務取締役	八重樫 悟	財務・総務・コーポレート本部管掌
常務取締役	笹貫 善雄	第三・第四プロダクションディビジョン管掌
常務取締役	中江 康人	第一・第二プロダクションディビジョン管掌兼戦略事業本部長
常務取締役	譲原 理	財務本部長兼コーポレート本部長
取締役	小甲 則夫	総務本部長
取締役	小形 浩隆	プロダクションコントロールディビジョン本部長兼リスクマネジメント室管掌
取締役	潮田 一	第一プロダクションディビジョン本部長
社外取締役	辻野晃一郎	
常勤監査役	斉藤 博	
社外監査役	湯佐 富治	
社外監査役	柴田 芳治	
社外監査役	高田 一毅	

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	13,334,640株 (自己株式 1,462,415株を含む)
株主数	2,582名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社コスモチャンネル	1,373	11.5
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	598	5.0
原 仁	400	3.3
松本 洋一	400	3.3
原文子	328	2.7
AOI Pro. 従業員持株会	312	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	226	1.9
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
株式会社テーオーシー	202	1.7

- (注) 1.当社は、自己株式1,462,415株を保有しておりますが、上記大株主からは、除外しております。また、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。
2.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) と日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (http://www.aoi-pro.com/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができないときは、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 フリーダイヤル(0120)232-711
上場証券取引所	東京証券取引所

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元株式数変更のご案内

当社では、株式の流動性向上及び個人投資家を中心とする投資家層の拡大を図るため、2012年11月1日より、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。これにより、当社の株式は証券市場において100株単位での売買が可能となりました。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

株式会社 AOI Pro. 本社 〒141-8580 東京都品川区大崎 1-5-1 大崎センタービル TEL.03-3779-8000(代表)

ホームページ [AOI Pro](http://www.aoi-pro.com/) で [検索](#) <http://www.aoi-pro.com/>